

# 柿の実

愛(I)がいっぱい I J I R I 小



HPQRコード

'23 井尻小学校便り

No.12

2024.3.25 発行

甲州市立井尻小学校

文責 校長 土屋弘明



気付さ  
るえ  
実行する

学校教育目標

「豊かな心もち自ら  
切り拓く子どもの育成」

## 3 学期もたくさんのヒーローが誕生しました ~ヒーローカード~

52日(6年生は49日)と1年の中で1番、日数の少ない3学期でしたが、264枚と今までで1番多くのヒーローが誕生しました。年間では、700枚を超えるヒーローカードが掲示されました。1学期より2学期、2学期より3学期と、一人一人がたくましく成長し、全員がヒーローになり学習や生活にがんばってきた証です。

ヒーローになる時、それは今!!



スーパーヒーローもたくさん生まれました!

## 縦割り班で気持ちを一つに ~井尻カップ「長縄連続跳び」~



今年度最後の児童会活動となる「井尻カップ」が7日(木)に行われました。縦割り班ごとに長縄で「8の字」になって跳びます。練習では、上級生や長縄跳びの得意な子が、跳び方や縄に入るタイミングをアドバイスしながら、みんなで協力して練習する姿が見られました。どの色も練習を重ねるごとに団結力が上がり、本番では、一人一人が練習の成果を発揮し、縦割り班全員で気持ちを一つにして頑張りました。「愛がいっぱい井尻小」児童会活動のフィナーレを飾るのにふさわしい集会でした。



休み時間を中心に、校長主催のチャレンジをしてきました。基本的に自由参加なので、子供たちは、自分がやりたいと思ったものに挑戦しました。「紙飛行機とばし大会」「二重跳び連続」「ぞうきんがけ 20m」「けん玉もしカメ連続」「大声大会」「お皿豆うつし」など、どのチャレンジも井尻の子のやる気が伝わってきました。



みんながんばったね!!

## 16名の卒業生、旅立ち ～令和5年度卒業証書授与式～



3月19日(火)、「第70回卒業証書授与式」が行われました。今年度は、卒業生16名、保護者・来賓の皆様、教職員に加え、1年生から5年生までの在校生が全員参列しての卒業式となりました。春光の中、卒業生は、小学校6年間の教育課程を全て修了し、立派に卒業証書を受け取りました。当日は、教育委員会告辞を教育長職務代理者の永田様、お祝いの言葉を小林市議会議員様、PTA会長の雨宮様からいただきました。在校生からは「送る言葉」と「大切なもの」の合唱があり、卒業生からは「別れの言葉」と合唱「絆」にこれまでの感謝と卒業にあたっての決意、未来への希望が込められ、感動的なものとなりました。最後は、参列者全員に見送られ、子供たちは、6年間通った井尻小学校を巣立っていきました。4月からは、中学校という新しい世界での生活がスタートします。式辞で述べさせていただいた「人は自分が思ったとおりの人になる」と「今頑張らずにいつ頑張る～今を大切に～」の気持ちを心の片隅に置き、元気にチャレンジして行ってほしいと思います。卒業生がこれから歩いてゆく、人生という長い坂道の向こうの景色は、まだ見えてはきませんが、この長い坂道の上に広がる空は高く、青く深く、強く凛と輝いています。16名の旅立ちを心より祝福します。



立派に巣立っていったヒーローたち

地域の皆様には、井尻小学校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。力強いご支援と温かい励ましに心より感謝申し上げます。今後もよろしくお願いたします。